



明日に架ける橋

進路だより 第2号
2019/04/23
兵庫県立明石高等学校
進路指導部発行

□ 進路アンケートの集計結果より

1) 「正しい勉強のやり方」って何だろう？

みなさんが答えてくれたアンケートで、それぞれの教科における【学習についての悩み】という項目がありました。そこで多くの方が「勉強のやり方がわからない」と回答をしていました。では、みなさんに質問です。そもそも、「正しいやり方」というものが存在するのでしょうか？

よく考えてみてください。

例えば、みなさんの中には、教科書を1度読むだけで内容を覚えることができる人がいると思います。反対に何度読んでも読むだけでは頭に残らない人もいます。また、読んでみて重要な内容を書くことで初めて覚えられる人もいます。ですので、このそれぞれの人をひとまとめにして「この勉強法が効果的だ」と全員に同じ勉強法をさせても、全員にいい結果は出るとは限りません。つまり、万人に共通する画期的な勉強法はなかなか存在せず、それぞれが自分に適したやり方を行うしかないということです。

みなさん、心のどこかで「何か画期的ないい勉強法が存在するはずだ」と幻想を抱き、それを追い求め、今の自分のやり方に不安を感じてはいませんか？もうそのように悩むことはやめましょう。ただし、勉強の方法の種類は沢山あります。もしかするとみなさんが知らなかったり、考え付かない方法があったりすることは確かです。それについては、教科の先生に方法を尋ねることで新たな気づきを得られるかもしれません。自分のことは自分がよく知っているはずですので、自分をよく見つめ、数ある勉強法の中から自分に合った方法を見つけ、実践してください。それが進路実現への近道です。

2) 「情報」を活用して優位に戦う

模擬試験やデジタルサービスの活用についての質問に対して、みなさんの多くの意見は【成績表だけを見る】【ただ見るだけ】でした。非常にもったいないです。そこには数々の有益な情報がつまっています。例えば、自分の弱点、自分の強み、学習のやり方などです。これを見ずに、または、それを見てもそこから何も考えずにいることは自分の力を向上させるためのヒントを自ら捨てているようなものです。

遥か昔から現代にいたるまで、「戦」「ビジネス」「スポーツ」とあらゆる分野で勝利を収めている人が大切にしているものに「情報」があります。逆に、負ける原因の一つとしてあげられるものに「情報不足」があります。いかに、「情報」が大切であるかは、言うまでもないことです。また、その「情報」というものは、待っていても得られることはありませんが、自分で収集するものです。中には、目に見える情報から考察することで、目には見えなかった本当に大切な情報にたどり着くこともあります。つまり、受け身の状態ではダメで、主体的でなければ有益な情報は得られません。

さて、みなさん自身はどうでしょうか？情報を感じ取り、集めるアンテナは自分の中に備わっているのでしょうか？

「人の言葉やあらゆる情報を聞くだけ」「情報を見るだけ」の受け身な状態から、はやく脱却しましょう。授業ひとつをとっても、「何故こうなるのか？」「もしかしたらこういう考え方もできるのではないか？」という姿勢で情報と向き合い、自分のものにしていきましょう。

また、何に対しても「無駄だ」という姿勢ではなく、「何か自分にとって大切な情報はないか」という姿勢で自分の周りの数々の情報に触れるようにしましょう。

□ GWは夏休みの前哨戦！～有意義な10日間にするために～

1) しっかりと学習計画をたてよう

今年のGWはなんと10日間も休みがありますが、その10日間、1日1日の勉強計画を立てているでしょうか？まだ立てていない人がいたら、しっかり立ててください。これは、部活動がある人ない人関係ありません。自分の現状のスタイルに合った学習計画を立てて実行してほしいと思います。

なぜ計画を立てるようにとみなさんに言っている理由は2つあります。

- 1、自分がきちんと計画を立てられるかどうかを知るため
- 2、計画通り行うことの難しさを知るため

この2つを見て「何それ？」と思った人もいるかもしれませんが。なぜこの2つかというと、テーマでも挙げたように、今回の連休は夏休みの前哨戦です。つまり「夏休みを有意義に過ごすための予行演習」ということです。ですから、夏休みをただただ無駄に多くの時間を浪費しないためにも、この10連休で「計画の立て方」「時間の使い方」を練習してほしいと思います。

2) 計画 → 実行 → 反省・改善

先ほどは、計画を立てましようと言いましたが、10日後は必ず振り返りをしてください。するとこんなことに気が付くはずですよ。

例えば、「自分の計画は実行できたら素晴らしいけど、なかなかハードで続かなかった」とか「計画の立て方が甘すぎて無駄な時間を過ごしてしまった」などです。私個人の経験になってしまいますが、意気込んで計画をしたものの詰め込みすぎて消化しきれなかったことがあります。なかなか計画通りに1日を過ごすことは難しく、外からの要因や、自分自身の気持ちなどの内的な要因が邪魔をしてきます。ですから、ここでも自分としっかり対話を行い、どのような計画が自分には適切で、しっかりと実行できるかを考えてください。これは、夏休みの前段階で行うから意味があります。夏休みでいきなり試して「失敗」となっては受験生にとって大痛手です。そうならない為にも、この10日間を、ぜひ有意義に使いましょう！

3) 家族でしっかり話し合いをしましょう

第1号の進路だよりで、担任の先生とコミュニケーションをとりましようということをおみなさんに言いました。しかし、その前にしっかりと話し合いをし、みなさんの進路について共通理解を図らなくてはならない人がいます。

それは、みなさんの「保護者」です。

学校の先生とは違う形で、具体的には経済面、生活面でみなさんを支えてくれるのは家族＝保護者の方になります。この連休で時間をとって、進路についての話をしてください。そして、確認し共通認識を深めてください。

例えば、具体的に

- 1) 本当に、進学または就職を賛成・支援してもらえるのかどうか
- 2) 進学・就職に際して家から通う範囲を選択しなければならないのか、別に範囲は気にせず進学・就職できるのかどうか

などがあります。特に進学に際してですが、家から通学可能圏内の学校から、受験校を選択せねばならないのかそうでないのかでは、選択肢に大きな違いが出てきます。しっかり話し合ってください。そこで自分の意志をきちんと伝え、家族・自分・学校の強力タッグを組むことのできる環境をつくりましよう。